

やまがた認知症カフェ通信 2017 7月号

平成29年7月15日発行 発行元/山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

特集 カフェで実践する新オレンジプラン④ 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

山形県では、認知症の早期診断・早期対応の体制づくりに取り組んでいます！

「認知症カフェで実践する新オレンジプラン」として、5月号では「若年性認知症施策の強化」について特集しましたが、今回は、プランの第2の柱「医療・介護等」についてご紹介します。プランでは、認知症の「早期診断・早期対応のための体制整備」を実現するため、「認知症サポート医」の養成や「認知症疾患医療センター」の整備、「認知症初期集中支援チーム」の設置を掲げており、これらの県での取り組み状況については、5月号でご紹介したところです。それらに加え、今年度、県では新たに歯科医師・薬剤師の認知症対応力向上研修を実施し、認知症の疑いのある人に早期に気付く体制をより一層整備していきます。



新オレンジプランの7つの柱

認知症の進行に伴い、在宅での対応が難しくなった場合でも、介護保険施設等において適切なケアが行われればBPSD(行動・心理症状)を予防することができます。県は、「認知症介護実践者研修」をはじめとする介護職員向けの研修を継続して実施し、認知症ケアに関する適切な知識を持ち、良質な介護を担うことができる人材確保に取り組んでいます。

さて、「認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供」を実現するためには、本人や家族に寄り添い、関係機関との連絡調整を行うことが重要です。この役割を担うのが、市町村が配置する「認知症地域支援推進員」です。現在、認知症地域支援推進員は県内の全ての市町村に配置されています。認知症地域支援推進員は、上記の役割のほか、認知症カフェの開設や認知症対応力向上研修の企画など、地域の実情に応じた様々な役割を担うことが期待されています。ぜひ、お住まいの地域の認知症地域支援推進員の配置状況について、確認してみてください。

(7つの柱II「医療・介護等」のために認知症カフェでできること)

- まずは、認知症地域支援推進員の配置状況について確認しよう！
→お住まいの市町村や地域包括支援センターにお問い合わせください。
- 必要に応じて、認知症地域支援推進員の方と連携を！
→本人や家族からの相談はもちろん、認知症カフェ開設についても協力してくださる場合があります。



さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

◇5月27日(土)さくらんぼカフェにて「公開講座～男の立場で考えるこれからの生き方～対話集会」を開催！

この日は、しゃべり場カフェとして、認知症の人と家族の会会員の榎本清秋さんが、「若年性認知症となっても変わらない男のいきかた」について話題提供していただきました。また、自分と妻の両親4人を見守っている男性、腰痛が原因で自宅にこもっていたが、友人から背中を押されて参加した男性等、参加者全員が「これからの生き方」に対するそれぞれの思いを語り合いました。

◇6月から東北福祉大学の3年生1名が、「実学臨床教育」としてさくらんぼカフェで1年間活動することとなりました。

「認知症カフェ」は当事者の方の居場所づくりの場だけでなく、若者の教育の場にもなり得ます。カフェで皆さんとお会いする中から多くを学び、卒業後は専門職として様々な活躍をされることでしょう。

このように、さくらんぼカフェは、認知症の人や家族の方だけでなく、専門職の方や地域で様々な活動をされている方も利用されています。「認知症カフェ」は、誰もが気軽に利用し合うことで、情報交換の場としての役割や、当事者と社会との接点をつなぎとめる役割を果たします。さくらんぼカフェやお近くの認知症カフェに、ぜひお気軽にお出でください。

川西町地域包括支援センター（健康福祉課）
生活支援コーディネーター 認知症地域支援推進員

須貝 千恵美（すがいちえみ）さん 一川西町一

認知症地域支援推進員として2年目になりました。

ある朝、Tさんから一本の電話があり「須貝さん、友達のこと相談があるのでちょっと家に来て！」と言うので伺うと、友達のSさんが妙な面持ちでいらっやいました。

Sさんは認知症で施設入所された旦那様のこと「まちカフェ」に来ておられる方でした。「私、主治医の先生から初期の認知症があるから役場の地域包括支援センターに行って相談してみてください、と言われたのよー。どうしたらいいんだが…」という第一声でした。お話を伺うと、何かが見えたり、聞こえたりもするようで不安な心持がこちらにも伝わってきました。そして、どうしたら安心した生活を送ることができるか一緒に考えましょうと提案してみました。

①息子さんに報告 ②専門医受診 ③確実な服薬 ④介護保険サービスの利用。この間、毎日Sさんからの電話対応や訪問を重ね、今ではケアマネさん、薬剤師さんの服薬管理を受けながら、お友達とのお茶飲みや大好きな畑に精を出して頑張って一人暮らしを続けていらっやいます。

それにも増して、施設入所中の大好きな旦那様に会うために自転車を一生懸命こぐSさんに、地域包括支援センターも私も陰ながら応援していきたいと思います。



インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

「山形県認知症カフェ情報交換会」について

身近な地域で誰もが利用しやすい「認知症カフェ」が、県内各地で開設されています。先にご案内しておりますとおり、さくらんぼカフェでは、実際に認知症カフェの運営にあたっている方、これから運営する予定のある方々の情報交換会を、県内各地域ごとに開催します。ぜひ、ご参加いただき、地域をつなぐ認知症カフェの続け方や始め方について話し合ってみませんか。

【開催スケジュール】

- 最上地区：7月20日(木) 15:00～16:30
新庄市「最上総合支庁」2階 202会議室
- 庄内地区：7月27日(木) 15:00～16:30
三川町「なの花ホール」2階 情報展示室
- 村山地区：8月2日(水) 15:30～17:00
山形市「さくらんぼカフェ」
- (置賜地区は7月12日(水)に開催済み)

新規オープンカフェ

よってけるカフェ（真室川町）

- 日時：7月25日(火)13:30～15:00
※出入り自由
- 場所：真室川町総合体育館
- 対象者：どなたでも ※申込不要
- 参加費：無料
- 問合せ：真室川町地域包括支援センター
☎0233-64-1525

カフェ情報

カフェ とこしえ（西川町）

- 日時：8月28日(月)10:00～12:00
- 場所：ケアセンターとこしえ西川
- 対象者：どなたでも
- 参加費：無料
- 問合せ：ケアセンターとこしえ西川
☎0237-85-1518

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)
電話・来所相談・カフェオープン月曜～金曜日 昼12時～午後4時
TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。